

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	日本経済論	
科目基礎情報							
科目番号		0065		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		学修単位: 1	
開設学科		電気情報工学科		対象学年		4	
開設期		前期		週時間数		1	
教科書/教材		「政治・経済」(第一学習社)					
担当教員		大野 規之					
到達目標							
1 日本経済の歩みと、今日の日本経済の課題について説明できる。 2 通貨危機、金融危機など世界経済の問題点について概況を説明できる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		日本経済の歩みと、今日の日本経済の課題について深く説明できる		日本経済の歩みと、今日の日本経済の課題について説明できる		日本経済の歩みと、今日の日本経済の課題について説明できない	
評価項目2		通貨危機、金融危機など世界経済の問題点について深く説明できる		通貨危機、金融危機など世界経済の問題点について説明できる		通貨危機、金融危機など世界経済の問題点について説明できない	
学科の到達目標項目との関係							
A JABEE A							
教育方法等							
概要		日本経済の現状を世界経済との関わりでとらえる					
授業の進め方・方法		毎回プリントおよび資料を配付する。毎回該当するテーマについての報道を見る。この科目は学修単位科目のため、事前事後学習として課題等を課す。					
注意点		普段から経済関係のニュースに接しておくこと。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	基本的人権と民主主義の発展が、資本主義経済の発展に寄与したことを、基礎的な政治経済の仕組みを通じて学ぶ。マクロ経済・ミクロ経済について(自宅演習)		授業の内容を理解できる。		
		2週	現代の資本主義の特徴と、現代企業の活動、社会的責任について(自宅演習)		授業の内容を理解できる。		
		3週	市場経済の仕組みと寡占化について (自宅演習)		授業の内容を理解できる。		
		4週	物価の動向と国民所得の考え方、経済成長と景気対策の問題について (自宅演習)		授業の内容を理解できる。		
		5週	財政政策と金融政策、金融の仕組みと金融ビッグ・バンについて (自宅演習)		授業の内容を理解できる。		
		6週	日本経済の歩み…戦後の復興期から、バブル経済の崩壊まで…バブル経済の崩壊とアベノミクスまで (自宅演習)		授業の内容を理解できる。		
		7週	アジア通貨危機とリーマンショック、金融危機はなぜ起こったのか(自宅演習)		授業の内容を理解できる。		
		8週	金融取引のあり方とヘッジファンド (自宅演習)		授業の内容を理解できる。		
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。		3	前1,前2,前3,前5,前6,前7
			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。		3	前4,前8
評価割合							
		レポート		課題		合計	
総合評価割合		50		50		100	
配点		50		50		100	
		0		0		0	